

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

市民の疑問ふみにじる 再稼働急げの陳情採択 松江市議会 原発特別委員会

県議・市議団そろって 再稼働推進陳情の可決に抗議

日本共産党中国ブロック統
一街頭宣伝で17日、尾村利成、
大國陽介の両県議、田中はじ
め、舟木けんじ、たちばなふ
み各市議、岩田剛東部地区委
員長が商店街前で宣伝し、
「岸田政権から原発ゼロの政
権へ転換するため、来年夏の
参院選で共産党を躍進させて
ください」と呼びかけました。



宣伝する(右から)岩田、大國、
尾村、田中、たちばな、舟木の各氏

田中市議は、16日の市議会 ・原発特別委で、松江商工会 議所などの2号機再稼働を求 める陳情が共産党以外の賛成 で採択されたことに、「2号 機の新規制基準適合性審査二 つが残る段階での判断は余り に拙速」と訴えました。続け て、たちばな市議は、住民投 票を求める条例制定署名運動 が続いている中での採択に抗 議し、舟木市議は、要配慮者 に対する避難計画が不十分な 下での再稼働を許さない決意 を述べ、大國県議は、避難す る地域と非難を受け入れる地 域を含む出雲市の困難な状況 を訴えました。

最後に尾村県議が、「原発
ゼロをめざす政府に変え、松
江・島根の未来を守ろう。市
民と野党共闘の力で自民・公
明の政治を変えよう」と訴え
ました。

市議会・原発特別委員会陳情審査 再稼働認めるなと主張 田中はじめ市議

16日、市議会・島根原子力 発電対策特別委員会(原特委) が開催され、執行部から県・ 市共催説明会等での質問・意 見に対する国・県・市の回答 の説明と計29件の陳情審査が 行われ、田中はじめ市議は委 員として再稼働を許さない立 場で質疑・討論を行いました。

田中市議は、島根2号機の
新規制基準適合性審査は、ま
だあと2つの審査があり、終
了時期もわからないと原子力
規制庁の回答を確認しました。
また、推進側の説明を一方的
に聞かされるのでなく、推進
と反対の専門家が議論する説
明会を行うべきと主張。
陳情審査にあたり、田中市
議は、「再稼働推進を求める
8件の陳情には、全て、『2
号機が新規制基準に合格した
場合に再稼働に同意すること』
という条件があるが、規制庁
が『審査はまだ終わっていない。
いつ終わるかわからない』
とする現段階での結論は不可
能」と主張し、継続審査を主
張しました。

住民説明会についての意見や疑問次々

第3回松江市原発安対協

異なった専門家の説明を聞く
機会を設ける考えはないか」、
「住民説明会についてのたく
さんの意見に対して、『ご意
見として承ります』というだ
けの回答なのはどういうこと
か」、「マールやユーチュー
ブでも住民説明会を見られる
ようにしたと言っても、どれ
だけの人が見ることが出来る
環境にあるのか。なぜ公民館
これに対して松江市は、専門
家の説明を聞く考えはない。
公民館やその他団体から求め
があれば出前講座をやるといっ
た、積極的に市民の不安や疑
問に答えようという回答に
終始しました。また医師会委
員からは「事故の多くはヒュー
マンエラーで起きている。何
よりも安全を第一に」との意
見が出されました。

日本共産党松江市委員会が 来年度予算要望を提出

日本共産党松江市委員会は
13日、上定昭仁松江市長に対
し、2022年度松江市予算
要望を提出し、小村隆総務部
長が対応しました。
要望は、党支部から寄せら
れた市内各地の要望と、様々



小村総務部長に要望書を提出する
田中・たちばな・舟木 各市議

な市民団体から寄せられた各
分野の要望を集約し、防災・
まちづくり、国保、子育て・
教育など12分野、81項目の切
実な要望を網羅しました。
新型コロナウイルス感染症対策にか
かわる要望を現在の状況に合
わせて継続すると共に、今年
度新たに、7月から9月に
かけての大雨・台風災害対策
での、被災箇所の具体的な要
望◇エンター平等の分野で、
公共施設や学校などの女子ト
イレ内への生理用品の配備要
望を加えました。
今後、文書回答受領後、回
答を分析し、要望の実現をめ
ざします。

今年度第3回目となる松江
市原子力発電所環境安全対策
協議会が、12月15日くにびき
メッセで開催されました。会
議では、松江市原子力安全対
策課より、この間開催された
説明会等で出された意見や質
疑の概要について説明があり、
質疑に移りました。
質疑の中では市民団体の委
員から、住民説明会の在り方
について次々と疑問や意見が
出されました。「説明会は一
方通行で再質問も認められな
かった。再稼働しても大丈夫
という説明だけを聞かされた。